

地方創生拠点整備事業の概要

●「道の駅いたの」に係る地域振興施設整備事業について

目的：「好条件の場所」と「交通利便性」を備えた道の駅に、町の特色を踏まえた多様なコンテンツ（農業、観光、歴史・文化、スポーツ）を活用できる拠点（地域振興施設）を整備し、多くの人を呼び込める環境を活かしながら、基幹産業である農業の継続と発展を軸に、観光資源の活用と地域福祉施策を行い、「まち」を活性化させ、地域の所得向上と移住定住促進を図る。

建設年度：令和元年度～令和2年度 ※交付金活用は令和元年度のみ

施設面積：11,500㎡ ※駐車場等を含む

事業費：1,056,000,000円

充当財源：【地方創生拠点整備交付金】

142,250,000円

【一般補助施設等整備事業債】

128,000,000円

【基金】

508,000,000円

【一般財源】

277,750,000円

効果検証

●地方創生拠点整備交付金について

目的：地方創生拠点整備交付金は、地方版総合戦略に基づく、**施設整備等**の取組を進めることを目的として創設されたものであり、補助率は1／2である。本交付金を活用した事業については、事業の目標となる指標（KPI）をあらかじめ定め、事業終了後には事業の達成度や成果について検証することが求められている。

検証については外部有識者で構成される検証機関により客観的に評価を行うものであり、町議会への報告と併せて、評価等については公表及び国への報告をおこなうものとされている。

●板野町総合戦略評価委員の評価及び意見について

委員の評価	A
-------	---

効果検証

● KPIについて

主要事業の概要・数値目標		工程（年度別事業計画）					備考
		R1	R2	R3	R4	R5	
【KPI】 ○地域振興施設の売上げ(単位:千円): 400,000千円(R6)	計画値	-	-	65,000千円	393,248千円	400,000千円	
	実績値	-	-	630,012千円			
【KPI】 ○地域振興施設利用者による交流人口の増加数(人): 78,000人(R6)	計画値	-	-	12,000人	73,000人	78,000人	
	実績値	-	-	290,761人			
【KPI】 ○地域振興施設利用者によるあせび温泉利用者数(人): 7,800人(R6)	計画値	-	-	1,200人	7,300人	7,800人	
	実績値	-	-	4,204人			

● 自己評価について

【自己評価の基準】

実施した事業がKPIを達成するために有効であったかどうかについて評価

- A**：極めて効果的であった
- B：十分効果的であった
- C：効果的であるが、事業の見直しが必要
- D：効果がみられず、事業の統合・休廃止の検討が必要

地方創生拠点整備事業

●「道の駅いたの」に係る地域振興施設整備事業の施設配置



外 観



全体図



足湯

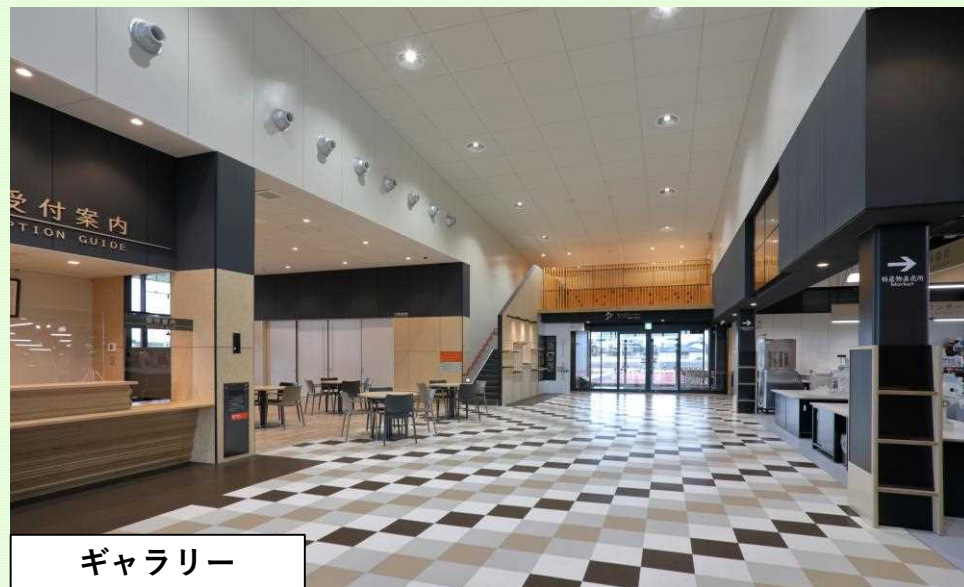


レンタサイクル

内 観



受付案内・地域福祉施設



ギャラリー



情報発信コーナー



農業支援研修室

内観



特産物直売所



バックヤード



新商品開発室



レストラン

施設の活用状況

●令和3年4月1日地域振興施設オープン



オープン以降、町外からも多くの方が訪れ
売り上げは順調である



子ども達にも人気の足湯。訪れた方を癒し
ながら、あせび温泉のPRにつなげている



特産物直売所入口にあるメインモニター
を活用し、町特産物などのPRを実施中



町特産物などを使用し、新商品開発室で
開発した商品の特産物直売所で販売中